

事務事業名		雲南市UIターン促進空き家リフォーム事業		所属部	政策企画部	所属課	うんなん暮らし推進課	
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	うんなん暮らし推進グループ	課長名	奥田 清	
	施策名	〈02〉移住・交流の推進		担当者名	安部真美	電話番号	0854-40-1014	
	目的:対象	市外の人・市民	意図	雲南市を好きになり、移住・定住してもらう。				
	基本事業名	〈007〉定住に向けた環境整備		予算科目	会計 011003	大事業名	定住対策促進事業	
目的:対象	市外の人・市民	意図	良好な環境で暮らしてもらう。				中事業名	UIターン促進空き家リフォーム事業
					056505	中事業名	UIターン促進空き家リフォーム事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (24年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
地域自主組織と協働し、空き家を子育て世代のUIターン用住宅として整備する。入居者の希望に応じてリフォームし、居住10年で以降の家賃を免除する。平成24年度は海潮地区振興会、平成26年度は八日市地域づくりの会と協働し実施した。(計2棟)

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	26年度実績(26年度に行った主な活動)	27年度計画(27年度に計画する主な活動)			
	② 活動指標	八日市地域づくりの会と協働し、同地区にて事業実施し審査会のうえUIターン者1世帯(夫婦と子ども1名)が入居することとなった。	住宅管理委託(地域自主組織)、入居者からの相談対応を行う。 新規のUIターン促進空き家リフォーム事業は本年度休止し、空き家改修補助事業の予算拡充をおこない、空き家の活用を推進することにより人口の社会増を目指す。			
		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	ア 空き家リフォーム住宅の整備	棟	1	0	1	0
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	子育て世代のUIターン希望者	ア 定住相談件数	件	176	185	212	180
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
リフォームされた空き家へ入居する。	ア 空き家リフォーム住宅への入居者数	人	3	0	3	0	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
・報酬 10千円(審査会委員) ・需用費 8千円(光熱水費) ・委託料 1,102千円(リフォーム設計、屋内機材処分、不動産鑑定、住宅管理) ・工事請負費 6,101千円(リフォーム工事、海潮住宅修繕工事)	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円	2,500		2,500
		地方債	千円	6,100		2,800
		その他	千円	0	60	60
		一般財源	千円	1,443		1,861
	事業費計(A)	千円	10,043	60	7,221	120
	人件費	正規職員従事人数	人		1	2
	延べ業務時間	時間		5	420	
	人件費計(B)	千円		19	1,633	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	10,043	79	8,854	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
空き家は増加傾向にある。空き家への入居を希望する定住相談件数も増えており、子育て世代から自然環境の中で子育てをしたいとの要望も増えている。	空き家を活用した事業の一つであるが、第2次総合計画の人口の社会増を目指す中で、類似事業である空き家改修事業に重点を置く。	人口対策は雲南市のみならず全国的に注目され、市議会からもUIターンに関する意見をいただいている。

事務事業名	雲南市UIターン促進空き家リフォーム事業	所属部	政策企画部	所属課	うんなん暮らし推進課
-------	----------------------	-----	-------	-----	------------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合 →
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合 →
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合 →
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 本事業は空き家を1戸雲南市で取得し、子育て中のUIターン者に賃貸住宅として提供するものであり、予算内においては向上の余地がない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 子育て世代をターゲットとした特色ある事業であり、定住人口確保に向け地域間競争が激化する中で移住希望者へPR効果がある。 しかし、人口の社会増を考慮した場合、類似事業である空き家改修事業へシフトすることがより有効である。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合 → (具体的な手段や類似事業名) 空き家改修事業	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない
		理由 子育て世代(小学生以下の子どもがいる夫婦世帯)をターゲットとしている空き家活用事業であり、他の事業との直接統合はできないが、移住人口の拡大の観点から類似事業にシフトすることは可能である。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 空き家に関する類似事業を1つにすることにより、全体事業費の圧縮が期待できる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 空き家に関する類似事業を1つにすることにより、2つの事業に要した人件費の削減が図れる。 ただし、今までに設置した空き家リフォーム住宅2戸について、施設管理は継続する。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 全地域自主組織に対し、実施希望を意向確認し事業実施している。入居希望者に関しては、全国公募し、審査委員会にて選定している。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	第2次総合計画10年間の前期において、人口の社会増減をゼロにするには、よりスピードと効果が見込まれる事業に重点を移すことが必要である。 本事業を休止し、類似する空き家改修事業を拡充することにより、移住人口の拡大を積極的に推進することが平成27年度から求められる。
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<p>第2次総合計画において人口の社会増を目指すにあたり、よりスピードと効果を追求する必要がある。本事業から類似している空き家改修事業へシフトすることにより、より多くの移住者受け入れを行う。 ただし、今までに設置した空き家リフォーム住宅2戸について、施設管理は継続する。</p>																								